

1 審議会名	上田城南地域協議会
2 日時	令和3年5月20日 午前10時00分から正午まで
3 会場	城南公民館 1階 大ホール
4 出席者	相田委員、市川委員、小林委員、田玉委員、龍野委員、田中委員、西入委員、増澤委員、松田委員、宮坂委員、宮澤委員、安江委員、柳澤委員、山岸委員、横山委員、若林委員、渡辺委員
5 市側出席者	【事務局】片山地域内分権推進担当係長、滝沢地域内分権推進担当主査、芳池地域内分権推進担当主事
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年5月24日

協 議 事 項 等

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項

城南地域の課題について

分科会ごとに分かれて意見交換

「防災」

防災部会の取組の方向性について

- ・防災部会の主たる調査・研究は、「パソコン・スマートフォンを使った、新しい情報伝達方法について」に決定。
- ・前回の部会にて依頼のあった、西部地域まちづくりの会「IT 担当者部会」の役割と『救助マップ』についての説明と質疑。
- ・次回の部会は、西部地域の『救助マップ』に携わる業者（城南地域協議会委員）から、プロジェクターを使った説明を受ける。

「高齢者福祉」

「高齢者のこれからの健康づくり」について

講師：城下地域包括支援センター矢嶋さん、川西地域包括支援センター蒲生さん

資料に基づき、介護予防やB型（デイ）サービスについて説明をいただく。

以下、意見交換の主な内容

- ・重要なのは主催者（リーダー役）。行動力と決断力が必要。継続していくには、信念がないとできないのではないかと。
- ⇒やる気のある方に有償ボランティアで取り組んでいただくことで、継続性につなげたい。
- リーダーの育成は重要なので、担い手育成講座も開催している。
- ・まず始めてみて実績を作ることも必要。知名度を上げて、自治会の協力を得られれば継続していくのではないかと。
- ・健康推進委員に核になってもらうのはどうか。

⇒自治会を巻き込んで活動ができることは利点が多い。

- ・集まりに飢えているが、コロナ禍で集まることができない。どんな内容でもよいのか。

⇒介護に資すれば対象になってくる。人と会うこと自体が介護予防となる。

- ・行政のバックアップがもっとあるとよい。住民自治組織とタイアップするなど工夫ができる。
- ・後継者を育てていくのは難しい。

⇒行政もリーダー養成講座などたくさん開催しているが、その受講者が活躍する場を設けていない。
その場を用意できればよいのではないか。

「産業振興」

- ・現在でている案について協議
- ・商工課に説明を求めたいことについて協議

以下、委員からの主な意見

- ・車社会のため、駐車場が無い商店街にはなかなかお客が集まらないのが現状である。
- ・地域を限定した循環バス等があればよいのではないか。
- ・塩田のグリーンパークや JAN!JAN!タウンのような、大きい駐車場の周りにお店があるというのが、一箇所です。用が足りるので理想的ではある。

4 その他

次回の開催予定

日時 6月17日(木) 午前10時から

場所 城南公民館 大ホール

5 閉会